会　議　録

会議の名称	令和元年度　第２回文化財審議会
開催日時	令和元年 10 月 7 日(月)　15 時 00 分～16 時 00 分
開催場所	教育委員会　会議室
出席者	吉川節男委員、佐々木眞理子委員、大久保善郎委員、川勝義彦委員、 塩入たま江委員、杜多堯慶委員、松本伸行委員 事務局（深迫課長、高見副課長、堀主査、佐藤主任）
欠席者	
会議次第	１．議案事項 （1)市指定文化財の諮問について ２．報告事項 （1)市指定文化財「道しるべ」説明看板修繕 （2)郷土芸能公演会 （3)ほるたま展 2019「Gu　Gu と縄文」 （4)水子貝塚星空シアター （5)その他 ３．その他
会議資料	
公開・非公開	公開（傍聴人　０人）
会議録確認	吉川委員

会議内容

あいさつ（議長、課長）

1．議案事項

（1）市指定文化財の諮問について

事務局：前回の会議で教育委員会から市指定文化財の諮問があった。対象とする文化財は、昨年度審議会でも調査を実施した水宮神社所有の役行者座像である。この資料について、指定文化財として指定してよいかどうかご審議いただきたい。

委　員：指定文化財の諮問ありましたので、審議を進めていきたい。まず事務局より指定文化財の諮問対象である水宮神社所有の役行者座像について再度、説明をお願いする。

―　事務局より説明　―

委　員：では、この資料について意見等があるか。

委　員：昨年度、文化財審議会で、150年ぶりに水宮神社に返還された役行者座像や不動明王座像を調査したが、仏像の専門家の意見を聞いたが、この資料はどういった点が秀逸なのか確認したい。

事務局：役行者座像については修験道の開祖であり修験道に関連する資料として、南畑にあった十玉院と般若院との関係や富士見市の民間信仰の存在を示す歴史的資料としても貴重である。また、当資料が役行者像としては規格も大きく、彫りもしっかりとしており美術品としても優れているという見解を専門の方からも伺っている。

委　員：指定の対象は像のみか、台座部分も含むのか。

事務局：台座も含めた指定を考えている。

委　員：台座が後から作られるという事例はよくあるが、そのあたりはどうなのか。

事務局：製作年代も明記されていないので、詳細は不明だが、その造形や補修時の専門家からの話でも一体のもの考えて良さそうである。

委　員：市の指定対象としての審議会としての意見をまとめたい。

委　員：市指定文化財として十分な資料だと思う。答申の意見として、同類の像と比べてもその規格や造りが秀逸である点は明記するべきである。

事務局：では、審議していただいた意見をまとめ、次回、答申として文言等を作成したいと考えている。

2．報告事項

（1）市指定文化財「道しるべ」説明看板修繕

―　事務局より報告　―

・道しるべの説明看板が日に焼けて、文字がほとんど見えなくなっていたので、看板部分を交換し、同時に石碑自体も土に埋もれていたので、引き上げ工事も行った。看板部分にはQRコードのシールを貼り、市HP上の説明や他の指定文化財の地図上の位置も見られるようにした。

(2)郷土芸能公演会

― 事務局より報告 ―

・12 月 8 日（日）に鶴瀬コミュニティセンターホールで、お囃子や獅子舞、里神楽の公演・展示・体験を行う予定である。

(3)ほるたま展 2019「Ｇｕ　Ｇｕと縄文」

― 事務局より報告 ―

・10 月 3 日～10 月 6 日にららぽーと富士見において、埼玉県埋蔵文化財調査事業団と共催で展示を行った。今回は縄文時代をテーマにしており、富士見市のブースでは、水子貝塚が指定 50 周年であることから水子貝塚をテーマに展示を行った。

(4)水子貝塚星空シアター

― 事務局より報告 ―

・9 月 7 日（土）国指定 50 周年記念ということで水子貝塚祭りとして規模も例年よりもイベントを追加して実施された。

次回会議、　1 月 16 日（木）午後 3 時から実施。